



# オープンCAEで学ぶ構造解析入門 —DEXCS-WinXistrの活用—

著：柴田良一

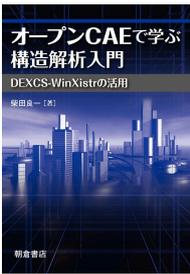
朝倉書店発行 ISBN978-4-254-20164-2 C3050

A5判/192頁/2017年03月25日発行 定価3,240円

<http://www.asakura.co.jp/books/isbn/978-4-254-20164-2/>

## ■特長■

ものづくり高度化の不可欠なCAEによる構造解析を、オープンCAE：FrontISTR(奥田先生)+EasyISTR(藤井氏)を用いて効果的に学ぶ事ができます。



【オープンCAEの活用】 利用する解析システムはWindows-PCに誰もが無償で構築できる。さらにソースコードが公開され、自由に利用して改良し配布もでき、研究開発の基盤として実際に広く活用されている。本システムは学習用の解析システムに留まらず、実務の設計や開発でも活用できる幅広い解析機能を実現している。

【アクティブ・ラーニング】 CAEを学ぶためには実践が不可欠であり、受け身の姿勢では十分な学習効果は期待できない。まずは本書のシナリオに従って自ら解析を実行することにより、構造解析学の学習を効果的に進めることを期待している。その後に巻末の参考文献を活用して、各自の興味により学習を深化させてほしい。

【クラウドなどの演習環境】 解析システムは一般的なPCを利用して、無償で簡単に構築できるため、本書は企業技術者などの自主学習にも最適である。また手軽に解析環境を整えるために、各種クラウドの活用も実現している。これより、ネットワーク接続のみでどこでも解析を可能とし、さらに大規模解析への展開を実現している。

## ■対象■

主として機械系や建設系の構造解析を内容としており、大学工学部2～4年・高専の本科や専攻科・工業高校の専攻科において、初めて構造解析を学ぶ学生

ものづくり系企業において製品設計に活用するための構造解析を、オープンCAEを用いて、初めて学ぼうとする企業技術者

